

授業科目	保健医療福祉行政と政策					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	眞崎 直子						
授業概要	保健師として公衆衛生看護を実践するうえで不可欠な知識として、保健医療福祉行政のしくみとの内容を事例を通して理解し、加えて、保健医療福祉計画の策定から評価までを解説し、保健師に求められる施策化について実務家教員（県保健師として、精神、難病、健康危機管理等の業務について20年以上経験がある教員）が解説します。						
授業形態				授業方法	ICTを活用し、双方向型授業を展開します。		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. ライフステージ別に、健康レベルを対象とした事業と法的根拠を理解し、行政機関で提供される保健サービスの役割及び関係機関との連携を説明できる (DP1-2, DP2-1, DP3-2)。
	2. 健康問題別（精神保健対策・難病対策・感染症対策・健康危機管理対策）について、各対策の体系を理解し、行政機関で提供される保健サービスの役割及び関係機関との連携を説明できる (DP1-2, DP2-1, DP3-2)。
理想的レベル	3. 地方行政における保健医療福祉計画の策定プロセスを説明できる (DP1-2, DP2-1)。  保健医療福祉サービス体系をライフサイクル別及び健康問題別に説明できる。地方行政における保健医療福祉計画の策定と評価を説明できる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0%	
小テスト	0%	
レポート	100%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0%	
レポート外の提出物	0%	
その他	0%	

## カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21706J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

復習：単元毎の課題に対し、最善の方法を検討する。	1回の目安時間（時間）
--------------------------	-------------

## 授業計画

第1回	テーマ：母子保健の制度のしくみ（眞崎） 事例を通して、妊娠期～就学前（思春期保健含む）の住民を対象とした母子保健対策の体系と法的根拠、実施主体及び関係機関との連携について演習及び解説する。
	テーマ：成人保健の制度のしくみ（眞崎） 事例を通して、健康日本21の早世予防と健康寿命の延伸を実現に向けて、住民の健康づくりと生活習慣病予防を目的とした成人期のサービスと法的根拠について演習及び解説する。

第3回	<p>テーマ：高齢者保健・介護保険の制度のしくみ（眞崎）</p> <p>事例を通して、高齢者の自立度に応じたサービスと法的根拠及び認知症対策について演習及び解説する。</p>
第4回	<p>テーマ：障害児・者福祉及び難病の制度のしくみ（眞崎）</p> <p>事例を通して障害児・者及び難病の療養と日常生活・社会生活を支えるサービスと法的根拠について、習及び解説する。</p>
第5回	<p>テーマ：感染症に関する制度のしくみ（眞崎）</p> <p>事例を通して、感染症に関する制度と対策について演習、解説する。</p>
第6回	<p>テーマ：危機管理の制度のしくみ（眞崎）</p> <p>事例を通して、地域・集団の危機管理について演習し解説する。</p>
第7回	<p>テーマ：保健医療福祉分野における政策形成（眞崎）</p> <p>保健医療福祉政策決定プロセスを演習し解説する</p>
第8回	テーマ：1回～7回の講義について、まとめと補足を行う。（眞崎）
テキスト	特に教科書としての指定はありません。（これまで使用した公衆衛生関連科目の教科書、厚生の指標臨時増刊「国民衛生の動向」を参考に自らホームページ等情報機器を使用し、調べます。）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>各制度の検索：厚生労働省 HP</p> <p>藤内修二他著：標準保健師講座・別巻1 「保健医療福祉行政論」 医学書院</p> <p>柳川洋他編：「公衆衛生マニュアル」 南山堂</p> <p>高野陽編：「母子保健マニュアル」 南山堂</p>
課題に対するフィードバックの方法	毎回、提示する対象別の保健医療福祉制度及び事業内容について資料作成を行い、その成果物をレポートとして評価します。提出されたレポートは、毎回コメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>1年次「社会保障概説」及び2年次「対象別公衆衛生看護活動論」で学習した保健医療福祉対策の知識</p> <p>1年次「社会保障概説」及び2年次「対象別公衆衛生看護活動論」で履修した保健医療福祉制度の知識をもとに、公衆衛生看護学の活動の場で出会う事例を通して、実践的に保健医療福祉制度の理解を深めます。主な制度については、テキスト以外に最新の制度の内容をインターネットから情報収集してください。</p> <p>毎回、分野ごとの予習復習を行ってください。</p>